





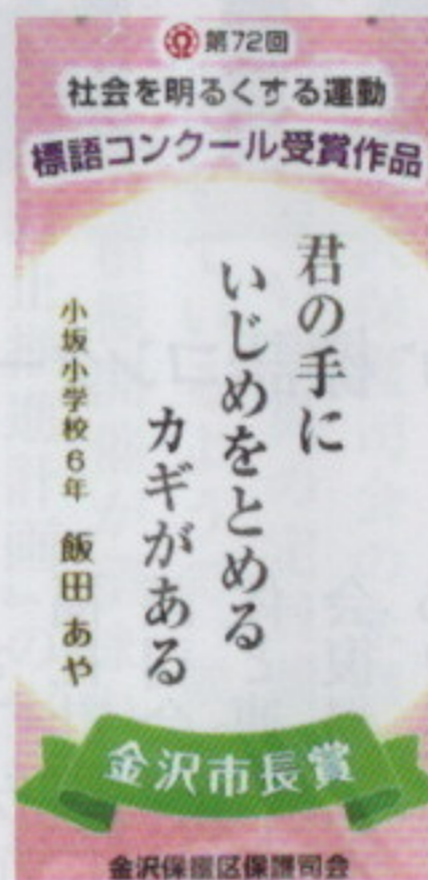
金沢保護区保護司会では、社会を明るくする運動“の行事の一端として、市内の小学校5・6年生（今年度から原則6年生）から標語を募集しています。今年度は、これまでで最多の52校から、3830点の応募をいただきました。コロナ禍にもかかわらず、温かな思いやりの心が伝わる作品が多く寄せられました。ありがとうございました。

# 第72回 “社会を明るくする運動” 標語コンクール受賞作品

## 【金沢市長賞】

小坂小学校6年

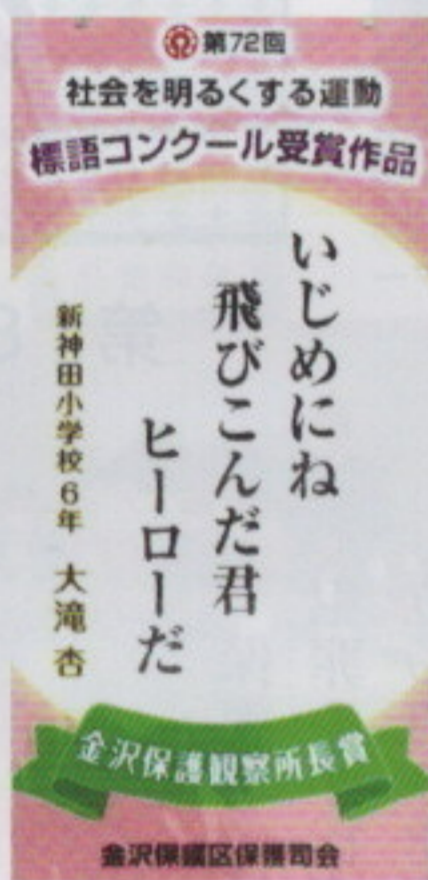
飯田 あや



## 【金沢保護観察所長賞】

新神田小学校6年

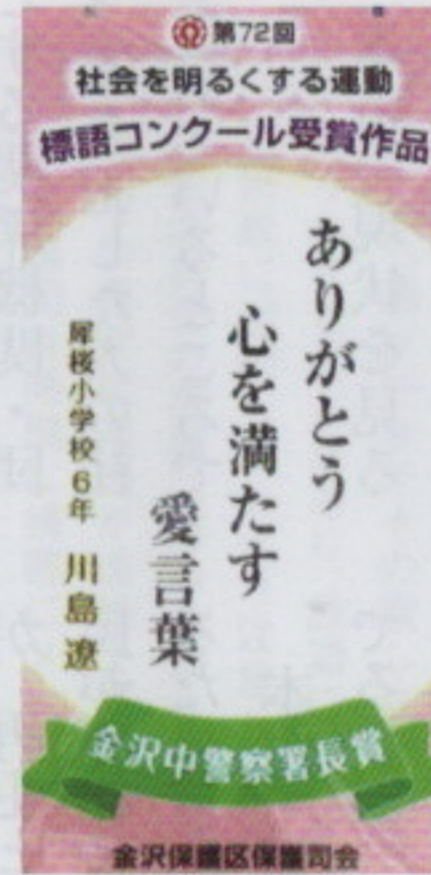
大滝 杏



## 【金沢中警察署長賞】

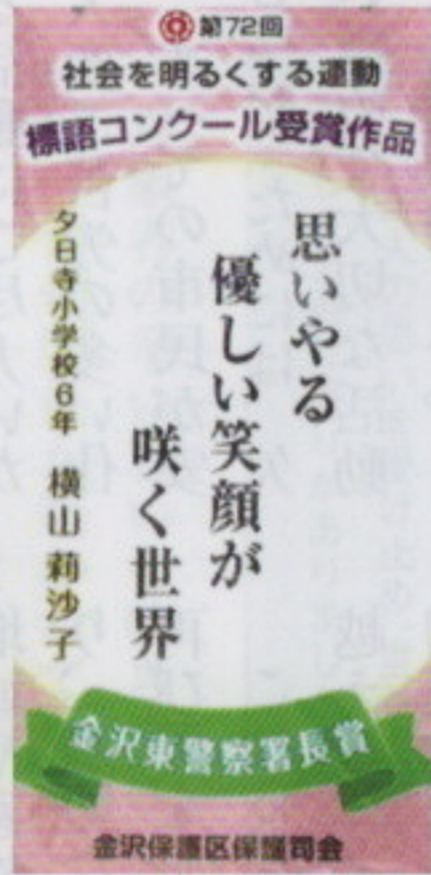
犀桜小学校6年

川島 遼



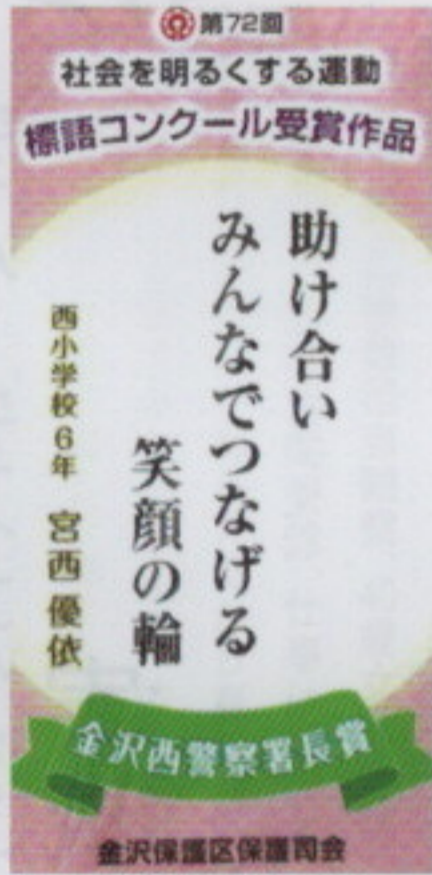
## 【金沢東警察署長賞】

夕日寺小学校6年 横山 莉沙子



## 【金沢西警察署長賞】

西小学校6年 宮西 優依



12月15日（木）石川県地場産業振興センターにおいて、万全の感染予防対策をとり、各賞を受賞された方々の表彰式が行われました。



【金沢保護区保護司会長賞】

あいさつで マスクの下でも

笑顔咲く

浅野川小学校6年 澤本 柚朱

否定しない 相手の気持ちを

考えよう

浅野町小学校6年 久保田 有祐

「おかえり」と 居場所はそこに

あふれてる

栗崎小学校6年 山岸 美晴

人それぞれ 「ふつう」は少し

ちがうから

泉小学校6年 舘 美琴

ありがとう マスク越しでも

伝わる心

泉野小学校5年 渡辺 絢子

ご近所に 明るい声で

こんにちは

内川小学校6年 小岩 千里

その行動 まわりの人は

どう思う？

扇台小学校6年 岡 昌樹



あいさつは みんながつながる

一つの輪

大浦小学校6年 橋谷 怜穂

ありがとう 言えるもらえる

あたたかさ

大野町小学校6年 吉野 愛央

やめようよ 自分がされて

嫌なこと

押野小学校6年 奥村 星愛

あいさつは ぼくと相手の

思いやり

金石町小学校6年 千田 智久

「ありがとう」君と私の

愛言葉

金沢大学人間社会学域  
学校教育学類附属小学校5年 辻 亜維紗

言葉の变身 花束、ナイフ

あなた次第

木曳野小学校6年 氷見 真琴

ごめんねと 少しの勇気で

仲直り

鞍月小学校6年 神山 日奈子

あいさつが 心のかびんに

花さかす

兼六小学校6年 福田 侑季

スマホやめ 周りの世界を

見てごらん

小坂小学校6年 島 依智菜

大丈夫 きっと明日は

あかるい日

小立野小学校5年 坂井 美沙

言う前に 考えてみよう

その言葉

犀桜小学校6年 戸田 綾香

困り事 相談しよう

今すぐに

四十万小学校6年 増永 隼士

広げよう やさしい言葉と

笑顔の輪

十一屋小学校5年 島本 蒼唯

いやなこと 1人でなやまず

言ってみよう!

新神田小学校6年 今井 萌香

仲間なら 止めに行こうよ

その一歩

西南部小学校6年 山塚 遥聖

ありがとう 言って言われて

うれしいな

大徳小学校6年 横田 颯大

目を合わせ やさしくつなく

友達の輪

田上小学校5年 川北 結菜

親御さん かなしませたら

だめだった

千坂小学校6年 田中 龍夢

そのいじめ とめればみんな

笑顔咲く

中央小学校6年 元 康昭

マスクでも 心はつながる

あいさつで

戸板小学校6年 高橋 諒

やめようよ 見て見ぬふりは

いじめだよ

富樫小学校6年 水鳥 楓芽

あいさつで 笑顔つながる

心の輪

長坂台小学校5年 高本 桃杏

ふりしぼれ 勇気の先に

ある世界

長田町小学校6年 釜谷 美有

いじめ止める あなたの言葉が

命づな

中村町小学校6年 一柳 友淳

ありがとう やさしい言葉  
口ぐせに  
西小学校6年 源内 凜

挨拶で 優しさ勇気を  
伝えよう  
額小学校5年 石田 空海太

うつむくな 自分から声をかけよう  
まずあいさつ  
花園小学校6年 川岸 春輝

大丈夫? その一声が  
第一歩  
馬場小学校6年 横山 大稀

あいさつで 心ぼかぼか  
明るい未来  
伏見台小学校6年 谷内 眞友

作ろうよ 平和な世界  
きづこうよ  
不動寺小学校5年 小原 理空

あいさつで 不思議とつながる  
笑顔の輪  
北陸学院小学校6年 朴 菜央

いじめをね やめるとたすかる  
命あり  
三谷小学校6年 高嶋 新太

やめようよ 差別は心に  
深い傷  
緑小学校6年 山本 彪牙

あいさつはえがおになれる  
宝箱  
南小立野小学校5年 曾我 有那

変わるなら 今かもしれない  
その動き  
三和小学校6年 岩瀬 華凜

見てるだけ その行動は  
正しいの?  
三馬小学校6年 中山 真優

見逃すな 心の叫び  
そこにある  
明成小学校6年 須藤 杏佳

あいさつは 相手も自分も  
気持ちよく  
杜の里小学校6年 小坂 柚姫

あいさつは 人とのつながり  
あたたかさ  
森本小学校6年 横川 叶恵

考えて 相手が嫌がる  
その言葉  
森山町小学校6年 広村 莉衣紗

万引きは あなたの心  
ぬすむもの  
諸江町小学校6年 田原 悠輝

こんにちは 広がる笑顔  
私から  
安原小学校6年 酒井 遊心

とめるのは いじめをなくす  
第一歩  
夕日寺小学校6年 高橋 凪

うそ情報 書くなのせるな  
信じるな  
米泉小学校6年 三原 零恩

考えて 本当によいの  
その言葉  
米丸小学校6年 長平 明莉

### 金沢保護区保護司会新年会

金石分区 北川 祐一

令和5年1月27日(金)ANAホリデー・イン金沢スカイにおいて新年会が開催されました。

今回開催担当となった私達金石分区では、令和2年よりたび重なるコロナ禍によって中止された新年会を今年こそは開催したいとの思いで、昨年夏より準備してきました。

当日は、吹雪まじりの天候となりましたが、来賓、保護司86名のご出席をいただき、当分区女性会員によるご祝儀・民舞「めでた」で幕を開けました。

開会宣言の後、ご来賓の皆様からご祝辞とともに労いのお言葉もいただき、保護司活動のさらなる充実を思い心を新たにいたしました。

料理と和やかな雰囲気の中歓談も進み、いよいよ金石分区保護司による余興「加賀鳶はしごのぼり」の時間となりました。木遣音頭の謡声にのせて纏を振つての入場に会場には笑顔があふれ、梯子演技に歓声が上がります。

梯子隊が引き揚げた後は、余韻に浸る間もなく抽選会へと進み、気がつけば時計の針はもうすぐ8時です。中締、閉会となり、3年ぶりの新年会はめでたくお開きとなりました。



### 他県保護司会との 交流研修旅行

金石分区 新谷 美栄子

10月21日、早朝7時にバスで金沢駅を出発。新潟市内で昼食を済ませ新潟港でジェットfoilに乗船。佐渡の両津港に到着後すぐにバスで佐渡中央会館へ向かいました。

この研修会には金沢から23名が参加、佐渡地区保護司会からは会長以下8名の理事が出席。佐渡地区更生保護サポートセンターは市から譲り受けた施設で面接場所としても利用している

そう、会議室も結構広い。佐渡市の人口は約5万2千人で保護司定数は42名、現員数32名。退任保護司会が新人を推薦・紹介してきましたが、足りなくなっている現状。本年度は保護観察1件、環境調整3件。平成15年に設立された更生保護女性会では、学校見守り隊



旧相川拘置支所

が活動し中学生と明るい社会づくりの活動も実施しています。いろいろな活動をお聞きして、行政・地域が一体となって様々な運動を展開していると実感しました。石

塚保護司会会長は先日まで入院されていたというのに、優しく丁寧な話しぶりで、中でも「面接は自分と向き合う、自分の未来と向き合う」という言葉が印象に残りました。

2日目は佐渡奉行所・旧相川拘置支所・佐渡金山・佐渡歴史伝説館・たらい舟体験をして小木港から直江津港に戻り帰途につきました。

3年ぶりの県外、初参加の保護司会の研修旅行で緊張感もあったのですが、佐渡の歴史も住んでいる人達の人情も十分に感じられ、とても有意義な2日間でした。



### 自主研修会

南東分区 福田 耕介

11月16日、石川県地場産業振興センターで金沢保護司会保護司会の自主研修会が開催されました。講師は人権擁護委員の木下良氏で、「相談時における人権感覚」と題して人権問題で悩む人の相談を受ける際の心がけや裏話を伺いました。

氏は法務局勤務を含めて長年人権に関する相談を受けてこられました、相談を受ける際は、

- ・相談者の話を鵜呑みにしない
- ・怒る人ほど怖がりである
- ・感情が高ぶっている人の話でも30分は聞く
- ・相槌に変化をつける
- ・気持ちがおさまったところ相手に考えさせるようにする
- ・説教してはいけない
- ・提案するという気持ちで話す

というように心掛けていけるとのことです。また、相手を思いやるとか相手を理解する、相手の立場になるとか言いますが、実際にはちよつとした工夫が必要な場合もあります。「おはよう」という場合でも普通はただ「おはよう」と言えばいいですが、視覚障害者に対しては「〇〇さん、おはよう」と名前呼びかける必要がありますと



講師の木下 良氏

のことです。ほかにもたくさん実例をお話いただきました。

氏は公務員時代何度も転勤をされたわけですが、新しい地で打ち解けるコツとして、学生時代からやっていた卓球が役に立ったとのこと。新しい勤務先に行くとその地の卓球クラブに入会したそうです。そして毎日早めに練習場に行き、まず掃除をし、小学生の練習相手なども積極的にしたそうです。そうするとその地の人たちが認めてくれ、早く仲間に入れてくれたそうです。余談も含めて保護司として活動する上でも大変参考になるお話でした。

北陸3県都地区  
保護司会意見交換会

南西分区 中村 健二

表題の会が11月18日、福井県永平寺町「四季の森文化会館」にて開催されました。同館は旧傘松閣とも呼ばれ、本山永平寺の160畳敷の大広間を移築復元した建物です。日本画の大家、川合玉堂、伊東深水らの描いた花鳥風月の天井画にはみんな目をみはりました。



交換会は、福井地区保護司会が呼びかけ、県庁所在地に位置する保護司会として、共有する問題点はないか等を討議しようというものです。金沢保護司会からは、会長・副会長・事務局総勢6名が参加しました。

席上、各保護司会より、保護司適任者情報の収集策、研修会の出席率向上策、社明行事の活性化等について、熱心な提案がなされました。最後に次期会場予定の金沢保護司会の米澤会長より「お互い会員の定員割れには苦慮しているようで、候補者検討会の積極開催が望まれます。『再犯防止推進計画』の実行は、関係各部との密接な連携が肝要」との挨拶があり、一同実りある時間を過ごしました。



薬物乱用防止  
指導員研修会

南西分区 関屋 幸子

薬物研修 2つの事例報告

【事例1】40歳男性、仮釈放一部執行猶予、婚姻歴があり離婚し実母と兄弟と同居。実子と交流があり復縁を望んだがかなわず寂しさを口にする事があった。酒が好きでその寂しさを酒で紛らわせることがあり、飲酒により薬物摂取に起因しないよう注意し、指導し生活状況の把握に努めたようであった。その後突然連絡が途絶え来訪もなく、保護司は頻りに携帯にメッセージを発信し続け、2カ月後再び来訪に繋げる。その間のことは対象者は口が重く無理に聞き出さず「保護観察が辛い。刑務所に戻りたい」と話すことに対し、本人の思いを受け止め、言葉を選び論じたと振り返りがありました。

対象者の辛い思いを吐き出させたのは、信頼関係が築かれていたことにより、辛い思いを受け止めてほしいという心の声だったのだろうと推測されました。

できるものでなかった。医療機関に相談しても本人の苦しみは解かれず、薬物の本当の怖さを認識する。

対象者は、人とのつながりの中で何とか自制が保たれているのではと強く感じました。紆余曲折があり、入院となり終了しましたが、終了後も2名の保護司には時々連絡が入り話し相手となっていたとのことでした。やはり依存度の強さなのであると事例を通じて感じた次第です。

編集後記

春爛漫です。マスクの着用もある程度自由になり、日本の社会は、徐々に元の生活に戻りつつあります。令和5年度の金沢保護司会の活動も、コロナ禍前の通常の活動に戻ることを願ってやみません。さて、春は異動の季節でもあります。広報部のメンバーもとりあえず1期2年の任期を終えることとなりました。ご多分に漏れずコロナの影響を受け、紙面づくりに苦勞しましたが、関係者各位及び広報部会面々のご尽力により何とか乗り越えることができました。改めて感謝申し上げます。令和5年度からは新しいメンバーで広報紙の作成に当たっていきますが、引き続き変わらぬご支援、ご協力をお願いいたしますとともに、皆様には一層のご自愛のほどをお祈りいたします。

西分区 縄 寛敏

【事例2】複数担当観察、40歳女性、訪問看護及び医療機関受診、仕事は単調で飽きるが給料がもらえるから意義を感じている様子がうかがえる。依存度が高く突然の呼び出しに窮することがあり、幻聴や幻覚のため、話の内容は回答

発行者 金沢市高岡町7-25

松ヶ枝福祉館4階

金沢保護区保護司会

会長 米澤 明孝

発行日 令和5年3月31日